

2024 年の世界の生乳生産量は 1.5%増、乳製品貿易量を微増に修正 FAO「食料アウトルック」2024 年 11 月号より

国連食糧農業機関(FAO)は、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック(Food Outlook)」報告書を毎年2回公表している。11月14日に公表された最新報告では、2024年の世界の生乳生産量を、前年比1.5%増の約9億8100万トンになると予測した。生乳生産量の増加の大部分は、インド、パキスタン、中国を中心とするアジアにおいて、都市部の裕福な消費者の需要増加に応じて乳牛頭数が増加していることによる。一方、世界の乳製品貿易量は、東南アジア、北アフリカ、近東などの需要回復により微増し、2024年には約8500万トン(生乳換算)になると予測し、6月の報告から下方修正した。世界最大の輸入国である中国では、主に国内の生乳生産量の増加と予想を下回る経済成長の中で、消費者需要の低迷により乳製品輸入が3年連続で減少する可能性が高い。

主な食料の2024~2025年の生産の見通しは良好であるものの、異常気象、地政学的緊張の高まり、政策変更などの要因が、世界の微妙な需給バランスや食料品の国際貿易、世界の食料安全保障に影響を及ぼす可能性があるとしている。

以下では、報告書の中から、乳・乳製品の市場動向とニュースリリースの概要を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しなどを補った。)

【食料アウトルック】(*1)

生乳生産は、中国などアジアで増加、一方、米国は減少

2024年の世界の生乳生産量は、約9億8100万トンになると予測され、前年に比べて1.5%増

加となる見込みである(表1)。2024年に予測される世界の生乳生産量の増加の大部分は、インド、パキスタン、中国を中心とするアジアにおいて、都市部の裕福な消費者の需要増加に応じて乳牛頭数が増加していることによる。欧州、

表1. 世界の乳・乳製品市場の概観(*1)

世界総量	2022年	2023年 (推定)	2024年 (予測)		増減(%): 2024年/ 2023年
			6月	11月	
総生乳生産量(百万t)	951.6	966.6	978.5	981.1	1.5
総貿易量(生乳換算百万t) ¹	85.6	84.6	85.4	84.9	0.3
1人当たり消費量					
世界(kg/年)	118.7	119.4	120.6	120.2	0.7
貿易のシェア(%)	9.0	8.8	8.7	8.7	-1.1
FAO 乳製品価格指数 (2014~2016年=100)	2022年	2023年	2024年 1~10月		増減(%): 2024年1 ~10月/ 2023年1 ~10月
	150	125	128		2.1

南米、オセアニアでも、乳牛頭数は減少しているものの、好天と牧場出荷乳価の上昇を反映して、生乳生産の見通しは明るい。対照的に、北米、主に米国では、乳牛頭数と乳量の減少により、生乳生産量は減少すると予想される。アフリカの一部の国でも、悪天候と高いコストのために生乳生産が減少する可能性がある。

世界の乳製品貿易は減少から微増へ。但し中国の輸入は引き続き減少。

2024年の世界の乳製品貿易は、2年連続で減少した後、8500万トン(生乳換算)に微増すると予測される。この増加の一部は、東南アジア、北アフリカ、近東の主要輸入国における需要の増加を反映しており、活発な外食産業、食品加工業の需要増加及びインフレ圧力の緩和に支えられている。ただし、世界最大の輸入国であ

表 2. 乳製品の国際価格および FAO 乳製品価格指数(*1)

期間	国際価格 (米ドル/t)				FAO 乳製品価格 指数 (2014~2016 年=100)
	バター ¹	脱脂粉乳 ²	全粉乳 ³	チェダー チーズ ⁴	
年次(1~12月)					
2013年	4 784	4 148	4 730	4 563	141
2014年	4 278	3 606	3 854	4 542	130
2015年	3 306	2 089	2 537	3 076	87
2016年	3 473	1 986	2 481	2 807	83
2017年	5 641	2 011	3 163	3 664	108
2018年	5 587	1 834	3 060	3 736	107
2019年	4 443	2 440	3 186	3 435	103
2020年	3 844	2 606	3 041	3 506	102
2021年	4 995	3 181	3 855	3 850	120
2022年	6 608	3 865	4 253	4 998	150
2023年	5 100	2 693	3 327	4 486	124
月次					
2023年10月	4 994	2 642	3 229	3 976	115
2023年11月	5 412	2 778	3 324	3 913	116
2023年12月	5 644	2 773	3 418	3 968	119
2024年1月	5 827	2 714	3 507	3 911	119
2024年2月	6 078	2 721	3 556	3 961	121
2024年3月	6 233	2 632	3 435	4 223	124
2024年4月	6 312	2 568	3 459	4 202	124
2024年5月	6 595	2 616	3 585	4 230	126
2024年6月	7 072	2 654	3 628	4 191	128
2024年7月	7 167	2 601	3 536	4 226	128
2024年8月	7 473	2 661	3 669	4 302	131
2024年9月	7 827	2 821	3 909	4 401	137
2024年10月	7 872	2 761	3 895	4 585	139

¹ バター: 乳脂肪 82%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

² 脱脂粉乳: 乳脂肪 1.25%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

³ 全脂粉乳: 乳脂肪 26%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

⁴ チェダーチーズ、最大水分 39%、FOB オセアニア・EU、平均表示取引価格

注: FAO 乳製品価格指数は、国際的に取引されている EU とオセアニアの代表的な乳製品の貿易加重平均から算出される。

る中国の乳製品輸入は、主に国内の生乳生産量の増加と予想を下回る経済成長の中で、消費者需要の低迷により 3 年連続で減少する可能性が高い。

オセアニアは、良好な生乳生産条件と貿易協定による輸出競争力の強化により、輸出量増加が予測されている。アルゼンチン、近東、北アフリカの一部の国も、通貨安、限られた国内販売、近隣諸国の需要増加の組み合わせにより、輸出が増加すると予想されている。

乳製品国際価格はさらに上昇

乳製品の国際価格は、今年の年間を通じて上昇した。バター価格が最大の上昇を記録したことに伴い、今年 10 月末までに FAO 乳製品価格指数は 17.2% 上昇した(表 2)。乳製品価格の上昇は、一部の主要輸出地域において輸出可能な供給量が限られていることと、サプライチェーン、特に輸送と物流に影響を及ぼす地政学的緊張によるものである。

【ニュースリリース】(*2)

主な食料と肥料の市場は比較的落ち着くが、貿易量減少の可能性も

FAO の最新の予測では、主な食料の 2024～2025 年の生産の見通しは良好であるものの、異常気象、地政学的緊張の高まり、政策変更などの要因が、世界の微妙な需給バランスや食料品の国際貿易、世界の食料安全保障に影響を及ぼす可能性があるとしている。

穀物と油糧種子の輸入額の低下は、低所得国に安心感を与えている。高所得国は世界の食料輸入額の 2/3 を占めており、2024 年には 4.4% の増加に直面する。一方で、高中所得国、低中所得国、低所得国の輸入額は縮小する可能性が高いとしている。

肥料市場に関する章では、天然ガスの価格と

密接に連動する窒素製品に加えて、カリウム肥料の価格も急落したことを指摘した。リン酸肥料は、貿易障壁が続いていることもあり、全体的な減少には至っていない。2024 年 9 月には、窒素、リン、カリウムの価格帯は、2022 年 4 月のピークから 50% 以上下落した。貿易量は減少しており、近東での紛争がさらに激化する可能性があるため、主要な肥料の供給に影響を与え、特にラテンアメリカとアジアへの影響が大きくなる可能性がある。

FAO「食料アウトルック」とは

年に 2 回発行され、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給の動向を FAO が検証している。また、食料品の先物市場や輸送コストの動向についても言及している。

参考資料:

- (*1) <https://doi.org/10.4060/cd3177en> Food Outlook. November 2024. Food and Agriculture Organization of the United Nations.
- (*2) <https://www.fao.org/newsroom/detail/cocoa--coffee-and-tea-push-up-global-food-import-bill-for-wealthier-countries/en> Cocoa, coffee and tea push up global food import bill for wealthier countries

(資料閲覧:2024 年 11 月 15 日)

(Jミルク 国際グループ)